

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		身体拘束の理解はしているものの項目まで視野に入れた、一人一人の尊厳保持にも力を入れたケアの不足	目に見える拘束ゼロも大切ですが、日々の会話の中から拘束していないかを見極められる技術をもつ	再度一人一人を理解に努め、職員側の(一人一人の入居者様の)ズレに気づく為に向き合う時間をもち、感じる。	3ヶ月
2		運営推進会議を活かした取り組みを行う方向だが、小人数となり、活かすまで至らずが問題	一人でも多くの出席によりサービス向上に向け相互関係へとつなげ活動	アンケートも導入しながら、来訪時なども日頃からの活動の中でもサービス向上に活かした取り組みをし、会議参加への働きかけを取り組んでいく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。